

令和2年度

# 決算報告書

(第14期事業年度)



自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月31日

北海道公立大学法人 札幌医科大学

区 分	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	7,437	7,437	—	
施設整備費補助金	627	614	△ 13	(注1)
自己収入	29,097	31,092	1,995	
授業料及び入学検定料収入	813	797	△ 16	(注2)
附属病院収入	27,774	25,274	△ 2,500	(注3)
雑収入	510	5,021	4,511	(注4)
受託研究等収入及び寄附金収入等	927	1,170	243	(注5)
長期借入金収入	595	580	△ 15	(注6)
繰越積立金取崩	124	0	△ 124	(注7)
計	38,807	40,893	2,086	
支出				
業務費	36,067	36,003	△ 64	
教育研究経費	1,725	1,661	△ 64	(注8)
診療経費	17,286	17,870	584	(注9)
人件費	16,464	15,956	△ 508	(注10)
一般管理費	592	517	△ 75	(注11)
施設整備費	1,221	1,170	△ 51	(注12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	907	828	△ 79	(注13)
長期借入金償還金	612	612	—	
計	38,807	38,613	△ 194	
収入-支出	—	2,280	2,280	

(注1) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が13百万円減少しました。

(注2) 大学院入学者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が16百万円減少しました。

(注3) 入院患者・外来患者の減少等により、予算額に比して決算額が2,500百万円減少しました。

(注4) 新たな補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が4,511百万円増加しました。

(注5) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が243百万円増加しました。

(注6) 病院既存棟改修工事の工程変更に伴い移転費用が減額したため、予算額に比して決算額が15百万円減少しました。

(注7) 繰越積立金を取崩さなかったため、予算額に比して決算額が124百万円減少しました。

(注8) 各種経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が64百万円減少しました。

(注9) 医薬材料費比率の上昇等により、予算額に比して決算額が584百万円増加しました。

(注10) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が508百万円減少しました。

(注11) 各種経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が75百万円減少しました。

(注12) 注1、注6に示した理由等により、予算額に比して決算額が51百万円減少しました。

(注13) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が79百万円減少しました。